



『〇〇ペイで返金します』に気をつけて!

若者から高齢者まで多くの人を利用するネットショッピング。便利なようですが、中には悪質なサイト業者が潜んでおり罠を仕掛けています。最近、被害が急増中の返金詐欺の手口について紹介します。

<詐欺事例>

ネットショッピングで商品を購入し、指定された個人名義の銀行口座に代金を振り込んだ。するとサイト業者から「商品が欠品のためキャンセルする。代金は〇〇ペイで返金する」と無料通話アプリの友達登録を案内された。ビデオ通話をしながら言われるまま決済アプリ画面を操作するうちに、返金されるはずが複数回送金していた。後日、銀行口座の総額が減っており、高額な金額を送金していたことに気がついた。その後、サイト業者とは連絡が取れない。

アドバイス

- ・「〇〇ペイで返金」は詐欺の疑いがあるので、相手の指示に従うのはやめましょう。
- ・他と比べて極端に値引き率が高いサイトは要注意です。
- ・支払方法が選べなかったり、個人名義の銀行口座への振込しかないサイトで購入するのは危険です。

騙されたかも?と思ったら早急に消費生活センターに相談ください。日程や時間はP.20へ。

■ 愛知県消費生活総合センター ☎052-962-0999

■ 長久手市消費生活センター
(市役所西庁舎2階 地域共生推進課内) ☎64-6503



NEWS 119 尾三消防



豊明市・日進市・みよし市・長久手市・東郷町を管轄する尾三消防本部からのお知らせです。

問 尾三消防本部(予防課) ☎0561-38-7236

地震による通電火災を防ごう!

●通電火災とは

電気機器などを原因とする「電気火災」のうち、地震の揺れなどの影響で停電した後に電気が復旧することで発生する火災です。地震の揺れや家具の転倒により破損した電気機器に再通電して発熱発火することや、電気ストーブなどに可燃物が接触した状態で再通電して着火すること、再通電時に発生した電気火花が周囲から漏れ出たガスに引火する火災のことをいいます。

●通電火災の怖さとは

通電火災は、地震から避難した後に時間差で発生することが多く、初期消火が遅れてしまいます。揺れによって物が散乱した中で出火すると、容易に火が近くの可燃物に燃え広がり、短時間で大きな火災となってしまいます。

●通電火災を防ぐには

通電火災は、避難する前にブレーカーを落とすことで電気を遮断し、停電が復旧しても電気機器に通電することがなくなります。しかし、外出中の被災、家屋の倒壊など、物理的にブレーカーを落とすことができない

状況に陥ることもあります。そのため、地震の揺れを感じて自動で電源を遮断する「感震ブレーカー」を設置しましょう。

※感震ブレーカーには分電盤に内蔵されたタイプもあるため、取り付け前に確認しましょう。

感震ブレーカー



地震の揺れ(目安震度5弱以上)によりボールが落ちることでブレーカーが落ちます。

※本市では、感震ブレーカーの設置費用の補助を行っています。詳細は市HPへ。

